後志地域における政策展開方針について

資料２－１

策定趣旨

- 国における「**第9期北海道総合開発計画**」のスタート（R6.4～）
- 道における新たな「**北海道総合計画**」のスタート（R6.7～）
- 人口減少対策に係る「**第3期北海道創生総合戦略**」のスタート（R7.4～）※

※国が、「若者や女性にも選ばれる地域づくり」などを基本姿勢として掲げ「地方創生に関する総合戦略」を策定する動きを踏まえ、R8.3に本戦略を改定

これらの計画・戦略が示す基本的な方向に沿って効果的に地域振興を進めるため、**“後志地域における政策展開方針”**を策定し、**重点的に取り組むプロジェクト**を規定（R7. 4スタート）

【特徴】

“後志地域における政策展開方針” は、**開発建設部 と 振興局が共有する地域づくりのビジョン**として位置づけ

多様な主体の連携・協働 により、地域課題を解決（＝“共創”）

後志地域の重点プロジェクト

- 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進
- 地域資源を活用した持続可能な観光地域づくり
- 多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくり
- 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大

※ 空知・石狩・胆振と連携

農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト 3

目的

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、**農林水産業の持続的発展**を図るとともに、ワインをはじめとする豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、**農林水産物の高付加価値化やブランド化**を促進する。

施策

■ **高品質で収益性の高い農産物の栽培**及び**ICTを活用した省力化技術の普及**

- ○ さつまいもなどの高収益作物の導入推進
- ○ ICTを活用した省力化技術の普及
- ○ 鳥獣被害防止対策の推進

■ **林業・木材産業**(全道屈指の強度を持つ「ようていカラマツ」等)**の振興**

- ○ 地域の特性に応じた森林づくりの推進
- ○ 地材地消の推進
- ○ 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進　など

■ 道内一の収穫量を誇る醸造用ぶどうを活かした**ワイナリーの集積**と**ワイン製造におけるカーボンニュートラルの取組**の普及促進

- ○ 栽培・製造・マーケティング等の技術の向上
- ○ ワイン製造におけるカーボンニュートラルに係る取組内容の調査・研究及び各ワイナリーへの普及促進

■ 多様な農林水産業の**担い手の育成・確保**

- ○ 担い手の育成・確保

■ **水産資源の持続的利用**や**新たな増養殖**の推進

- ○ トラウトサーモンなど新たな養殖の推進
- ○ 漁港施設の有効活用等による海業の取組の推進
- ○ 水産物のブランド化など付加価値向上に向けた取組の推進
- ○ コウナゴなど適切な資源管理の推進
- ○ 藻場保全などブルーカーボンに関する取組の推進　など

■ 多彩な一次産品や特産品の**地元利用**と道内外への**販路拡大**

- ○ 特産品の発掘・磨き上げ
- ○ 安全・安心を基礎とした「食」のブランド力の向上
- ○ 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進
- ○ 地元食材のレストランでの利用促進など産消協働の推進
- ○ 官民協働による国内外でのプロモーションの展開

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi商談会の開催[振興局]
概　要:後志管内の1次産品や加工品をホテルやレストランへ売り込む商談会を開催

■各種イベントにおける後志管内水産加工品等の出品斡旋や販促PRを実施[民間、振興局]
概　要:管内水産物の消費を拡大するため、各種イベントで漁協等が扱う水産加工品等の出品斡旋や販促PRを実施

■道産木材及び地域材の利用促進に関する勉強会の開催[市町村、民間、振興局]
概　要:後志産木材を利用した建築用材の地材地消の促進を図るため、大手ゼネコンなどの有識者を講師に招き、振興局講堂において勉強会を開催

ShiriBeshi商談会の様子

地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト 4

目的

自然景観や地域の文化の組み合わせによるアドベンチャートラベルや、ワインをはじめとする多様な食資源を活かしたツーリズムの推進など、地域ならではの優れた地域資源を活用し、旅行者の滞在期間の延長や観光の通年化、広域化を図り、持続可能な観光地域づくりを推進する。

施策

■ 後志地域の**自然景観や食資源を活用した広域観光の推進**

○ 農業・漁業体験など一次産業や食品加工業をはじめとする二次産業と観光事業者との連携による「食」を活かした魅力ある観光地づくり
○ 自然景観や食などの地域資源を活用した広域観光の推進

■ ウィンタースポーツをはじめ、サイクリング、ラフティングなどのアクティビティや地域の文化等の組み合わせによる**アドベンチャートラベルの推進**

○ インバウンド受入体制の充実
○ 官民協働による国内外でのプロモーション展開
○ 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供
（ニセコ山系ロングトレイルなど）

■ 地域の観光ビジネスで活躍できる**国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材の育成**

○ インバウンド受入体制の充実
○ 商品造成や観光誘客プロモーションができる人材の育成

■ 地域の稼ぐ力を引き出す管内の**DMOとの連携**

○ 北後志地域やニセコ地域を核とした周辺地域への広域化や観光消費の拡大
○ DMOとの連携によるプロモーションや情報発信

■ **新たな交通ネットワークを広域的に活用**するための連携した取組の推進

○ 宿泊地（ハブ）と周辺の地域（サテライト）が連携した、多彩な魅力ある観光資源を活用した通年型・滞在型観光の推進
○ シーニックバイウェイ北海道の推進
○ 地域交通ネットワークの充実・確保
○ 広域観光の推進
○ インバウンド受入体制の充実
○ 自然・景観の保全と活用による質の高いコンテンツの提供

これまでの主な取組・成果

■ 酒と食をテーマとした広域観光推進会議の開催［振興局・後志観光連盟］
概　要：後志管内の豊富な食資源と豊かな景観や温泉など優れた観光資源を組み合わせた観光誘客と長期滞在を目指した会議を開催

■ATコンテンツ発掘相談会［振興局］
概　要：後志管内自治体のATコンテンツについて、商品化に向け専門家による現地視察・相談会を実施

ATコンテンツ発掘相談会

多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト 5

目的

労働者の通年雇用化や若年者への地元企業の魅力発信等を通じた**人材の流出抑制、移住・定住施策と一体となった人材誘致、グローカル人材の育成**や**多文化共生の推進**、地域公共交通の利用促進や運転手確保などによる**地域交通ネットワークの確保**、再生エネルギーの活用や森林づくり、地域住民等のカーボンニュートラルに対する更なる意識醸成などを通じた**環境と調和した地域づくり**を推進する。

施策

■ 冬季に偏在する労働者の**通年雇用化**、学生と地元企業のマッチング支援や学生に対する情報提供を通じた**地元定着の促進**

- ○ 無料職業紹介所の開設による就業相談の実施
- ○ 若年者に向けた地元企業説明会等の開催

■ 国際感覚やコミュニケーション能力を備えた**グローカル人材の育成、多文化共生の推進**

- ○ 多文化共生に向けた多様な主体の交流機会や外国語実践機会等の創出
- ○ ShiriBeshi留学などを通じたグローカル人材の育成
- ○ 市町村と連携した多文化共生の場の提供

■ **市町村と連携し、移住定住施策と一体となった人材誘致**

- ○ 移住フェアなど後志をPRする場へのブースの出展等
- ○ SNS等による情報発信

■ **地域公共交通ネットワークの維持支援**

- ○ 市町村や事業者と連携したバスの運転手確保の取組の実施
- ○ 公共交通利用促進のための広報活動

■ 地域住民等の**カーボンニュートラルに対する意識醸成**

- ○ 地域住民等を対象とした出前講座などの啓発活動の実施

■ 地域の特性を踏まえた**防災対策の推進**

■ 安全かつ安心に暮らせる**医療・福祉体制の整備**

これまでの主な取組・成果

■ ShiriBeshi留学の実施[町、民間、振興局]

概　要:道内外の大学生等が、リゾート関連企業でのインターンシップや、地域の方々との交流を通じて学ぶ人材育成プログラム。サマープログラムとウインタープログラムを開催

■ 若者向け合同企業説明会の開催[振興局]

概　要:後志教育局などの関係機関と連携し、管内の高校生を対象として、将来ビジョンを描くためのキャリア教育を実施
また、職業選択の視野を広げる一助として、地元企業の概要や仕事の内容を周知することで、地元での就業促進を図るとともに、勤労観などを形成することで就職後の早期離職の抑制を図ることを目的として開催

ShiriBeshi留学の様子

日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（空知地域・石狩地域・後志地域・胆振地域）

6

目 的

日本遺産認定から、PR資材の整備やガイドの育成、地元への周知活動によるシビックプライドの醸成などを行うことで、知名度向上はもとより、協力事業者の拡大など着実に推進体制を充実させてきた。

これらの資産を活かし、様々な主体と連携しながらプレミアム旅行商品の造成や関連商品・サービスの開発などインバウンドも見据えた稼ぎの仕組みに磨きをかけるとともに、スルーガイドの育成をはじめとした、地域のプレイヤー育成を継続し、交流人口の拡大と雇用の創出を図る。

これまでの主な取組・成果

■ 炭鉄港めしフェスタの開催[振興局]

開催日：①令和7年9月6日～7日
②令和7年9月13日～14日
場　所：①道の駅あびらD51ステーション
②岩見沢駅東市民広場公園
概　要：①「安平町炭鉄港記念イベント」及び
②「いわみざわ情熱フェスティバル」
において炭鉄港めしブースを開設。

■ 炭鉄港アートプロジェクト2025の実施[炭鉄港推進協議会]

開催日：令和7年9月20日～10月13日
場　所：赤平市炭鉱遺産ガイダンス施設
概　要：アートをきっかけとした炭鉄港の認知度向上及び魅力発信のため、住友赤平炭鉱立坑櫓等を会場に、アート作品の展示、ライブパフォーマンス、学生によるワークショップ等を実施（約800名来場）。

■ 炭鉄港共通サイン看板の制作[振興局]

概　要：観光客の利便性向上及び日本遺産への理解促進のため、構成文化財を紹介する共通デザインの看板を制作・設置。
場　所：計12か所
（夕張市3か所、美唄市3か所、江別市2か所、三笠市2か所、月形町1か所、沼田町1か所）

プレート型

バス停型

■ 炭鉄港ガイド付きミニツアーの実施［炭鉄港推進協議会］

開催日：令和7年4月26日、9月6日、9月14日、9月27日、10月25日
場　所：美唄駅、追分駅、岩見沢駅、東室蘭駅、小樽駅
概　要：炭鉄港の認知度向上を図ることを目的に、JRヘルシーウォーキングイベントウォークに合わせ、炭鉄港構成文化財や関連施設を巡るガイド付きミニツアーを実施。

R８年度の主な取組予定

■ 各市町で集中的にイベントを開催する炭鉄港3-DAYSの実施[炭鉄港推進協議会]
■ 炭鉄港サポーター制度の構築及び研修等の実施[炭鉄港推進協議会]
■ 知的財産を生かした地域ブランディング及びインフラツアーの実施[振興局]

令和8年度　後志総合振興局独自事業一覧

（単位：千円）

番号	課	種別	新規・継続	事業名	事業期間（年度）	事業概要	予算額
1	地政	創生	継続	後志管内公共交通活性化事業	R6 ～ R8	公共交通の維持や活性化のため、関係団体等と連携し、バス運転手等の募集活動を実施するほか、北海道新幹線札幌延伸の早期完成・開業に向けて、機運醸成を図るため、官民一体となって啓発活動を実施する。	2,016
2	地政	ｺﾗﾎﾞ	新規	ShiriBeshiグローカル推進事業	R8 ～ R10	「インバウンド先進地」であるだけでなく、様々な国籍の人々が共に暮らすことで起きている新たな課題を関係機関等と連携し、共有・解決に向けて取り組む。また、インターンシップと多文化共生の場を通じたグローカルな人材の育成に取り組むことで、更なる関係人口の増大を目指す。	4,421
3	環生	創生	継続	ニセコトレイル利用促進事業	R7 ～ R9	ニセコ積丹小樽海岸国定公園内にR4～R6にかけて整備した「ニセコトレイル」について、自然公園の適切な利用と維持管理の促進を図るとともに、持続可能な維持管理体制構築を図り、アドベンチャーツーリズムのコンテンツとして確立を目指し、夏季の後志観光の推進に資する。	3,600
4	環生	創生	新規	ShiriBeshi雪冷熱エネルギー活用促進事業（雪蔵推進プロジェクト）	R8 ～ R10	「ゼロカーボン北海道」に向けた道民の意識醸成のため、各種啓発活動を行うとともに、後志地域の個性・独自性を活かし、雪を再生可能エネルギーとして活用する代表例として、雪蔵の設置推進を図る。	1,700
5	商工	コラボ	継続	後志地域人材確保・人材誘致推進事業	R6 ～ R8	後志管内では人手不足が慢性化していることから、若者の地元定着促進や、多様な人材の確保、さらには企業活動の省力化を支援することで、人手不足への対応を図る。	2,800
		共創					357
6	商工	創生	継続拡充	ShiriBeshiの気候風土を味わう食と観光推進事業	R7 ～ R9	後志地域ならではの気候風土により育まれたワインをはじめとする多様な食資源に関わる事業者への伴走支援と、それらを活用したガストロノミーツーリズム等の観光プロモーションを一体的に推進し、販路拡大や誘客促進を図る。	3,800
7	農務	創生	新規	持続可能なしりべし農業推進事業	R8 ～ R10	農作業の省力化や化学肥料・農薬の使用量低減に向けた実証試験や新技術の検証を行うとともに、担い手の育成を図り、管内農業の持続的な発展を目指す。	1,200
8	林務	創生	新規	後志産木材プロモーション事業	R8 ～ R10	後志産地域材の利用拡大を図るため、「ようていカラマツ」ブランド化の促進及びリゾート関係会社等へのプロモーションを実施し、積極的な地域材の利用を促進する。	901
9	水産	創生	継続	コウナゴ漁期前調査事業	R6 ～ R8	水産試験場や関係漁業者と連携して、コウナゴ漁期前調査を実施し、水産試験場にて取りまとめの上、最適な漁獲サイズに成長する時期を予測。今後の自主的な資源管理など、漁業者の意識醸成を図る。	408
10	水産	創生	新規	後志南部地区ニシン魚価向上対策事業	R8 ～ R10	後志南部地区のニシンは魚価が低迷しているため、漁獲物調査やニーズ調査等により課題を整理し、規格の統一や選別作業の効率化など、魚価向上に向けた取組の有効性を検証することにより、漁業者の所得向上を目指す。	551
後志総合振興局						10事業	21,754